

第18回日本産業ストレス学会 in KOBE

【テーマ】産業ストレス危機のメンタルヘルスリテラシー 優先すべき正確な知識技術とは何か【日時】2011年1月21日(金)～22日(土)、23日研修会【会場】神戸国際会議場(神戸市中央区)【基調講演(会長講演)】「産業保健におけるメンタルヘルスリテラシーの現状と課題」丸山総一郎(神戸親和女子大学)【特別講演】I「職場のメンタルヘルスをめぐる国際動向と日本の優先課題」川上憲人(東京大学)／II「産業ストレスとメタボリックシンドローム」松澤佑次(住友病院)【教育講演】I「産業現場で役立つ認知行動療法」大野裕(慶應義塾大学保健管理センター)／II「精神障害の労災事案等から学ぶリスクマネジメント」夏目誠(大阪樟蔭女子大学)／III「産業ストレス対策の来し方行く末」和田攻(産業医科大学)【シンポジウム】①「産業看護職によるメンタルヘルス活動 その新たなストラテジー」池田智子(産業医科大学)・大神あゆみ(ソニー生命保険ウェルネスセンター)・武澤千尋(東京工科大学)・巽あさみ(浜松医科大学)／②「多様化するメンタルヘルス不調者への対応 今何が可能で何をすべきか」廣部一彦(みずほフィナンシャルグループ大阪健康開発センター)・井上幸紀(大阪市立大学)・島津明人(東京大学)・三柴丈典(近畿大学)・梅村聡(参議院議員)【ランチョンセミナー】「増加するうつ病、広がるうつ病 求められる客観的指標」樋口輝彦(国立精神・神経医療研究センター)【参加】事前登録：ホームページの登録フォームより。または申込用紙を

プリントして下記へFAX【参加費】事前登録：会員5000円、非会員6000円、学生2000円。当日：会員6000円、非会員7000円、学生3000円、懇親会5000円【研修会】23日(日)。別途申し込み【問い合わせ】〒639-0298 奈良県香芝市関屋958 大阪樟蔭女子大学心理学部臨床心理学科夏目研究室内【TEL】0745-71-3137【FAX】0745-71-3142【E-mail】sangyo-stress@osaka-shoin.ac.jp【URL】http://18-sangyo-stress.jp/index.html

日本学校メンタルヘルス学会 第14回大会

【テーマ】学校を元気にしよう！みんなで支える学校メンタルヘルス【日時】1月22日(土)～23日(日)【会場】オリンピック記念青少年総合センター【特別講演】「精神科医療から期待する学校メンタルヘルス」児玉隆治(長信田の森心療クリニック)【大会長講演】「教師、子ども、親でつくる三位一体の学校メンタルヘルス」倉本英彦(北の丸クリニック)【シンポジウム】①「いのちの教育とこころの健康教育」近藤卓(東海大学)・影山隆之(大分県立看護科学大学)・弓山達也(大正大学)・米田朝香(東海大学)／②「教師のメンタルヘルス」江口毅(ジャパンEAPシステムズ)・藤原忠雄(兵庫教育大学)・真金薫子(三楽病院)／③「学校を元気にするには」倉本英彦・諸富祥彦(明治大学)・吉川武彦(中部学院大学)・小林正幸(東京学芸大学)・井上恵(関原中学)【ランチョンセミナー】「社会的ひきこもり」斎藤環(佐々木病院)／「インターネット

と子どもの心」田村毅(東京学芸大学)【ミニシンポジウム】1「本音を言う会！？」①「学校へのいちゃもん」／②「教師の悩み・カウンセラーの悩み」吉川武彦・元永拓郎(帝京大学)・小林由季(北の丸クリニック)・吉田章子(三鷹市教育委員会)・池田聡子(かえつ有明中学高等学校)、他。【記念講演】「教師の悩みとメンタルヘルス 教師のパワーUPのために」諸富祥彦【参加費】事前登録：12月31日まで4000円、1月1日から5000円、大学生、大学院生は学生証を提示で2000円、懇親会3000円、宿泊費1泊2900円【問い合わせ】〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-8 三軒町ビル102 青少年健康センター(倉島徹)【TEL】03-3947-7636【FAX】03-3947-0766【E-mail】jasmh14@gmail.com【URL】http://blog.canpan.info/ac004-jasmh/category_2/

第18回精神科看護管理研究会 2011 セミナー in 出雲

【テーマ】癒す看護 癒される看護 ごえん(円・縁・延・援・宴)を大切に【日時】1月28日(金)～30日(日)【会場】竹野屋旅館(出雲大社前)【基調講演】I「認知症の方との関わりから こころふれあう診療とケア」高橋幸男(エスポアール出雲クリニック)／II「2011 精神科医療はどうなるか」吉川隆博(厚生労働省)【時事放談】「これからの精神医療福祉を語る」吉川隆博・梶本伸一(十全第二病院)・矢田朱美(相談支援事業所ふあっと)／III「成年後見センターと福祉行政 看護師に必要な基礎知識」井上明夫(出雲市役所 健

小誌では、できるかぎり多くの「生情報」を掲載したいと思っています。
イベントを企画されている方、広報を担当されている方は、
ぜひ小誌編集室までご一報ください。
FAX. 03-5804-0485 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

康福祉部長）・末安民生（慶応義塾大学・日本精神科看護技術協会会長）「当事者が語る僕の入院会議を開いてください サポートされた経験からサポーター」樋口忠雄（当事者）【ミニシンポジウム】「当事者と語る退院調整」東美奈子（相談支援事業所ふあっと）【ワークショップ】「アロマセラピーの効果と実践」「看護師さん疲れていませんか フェイスマッサージの実践」「みんなで考える『こころの健康出前講座』講師養成研修」「行動制限最小化 フィンランドとの比較研究」「当事者と看護師が語る入退院」「これからの病院経営」「外来、訪問看護への期待」【参加費】30000 円（宿泊費、テキスト代込み）【定員】120 名【申し込み】FAX またはメールで受け付け【問い合わせ】〒693-0011 島根県出雲市大津町 3656-1 同人会海星病 窓口：金山千夜子、藤江美晴【TEL】0853-21-3521【FAX】0853-23-0756【E-mail】kchiyako@doujinkai-hp.or.jp【URL】http://psykangokanri.jp/

第 3 回日本不安障害学会学術大会

【テーマ】Common mental disorder としての不安障害【日時】2 月 5 日（土）～6 日（日）【会場】早稲田大学国際会議場【会長講演】「Common mental disorder としての不安障害」坪井康次（東邦大学）【シンポジウム】「精神疾患にみる不安障害の Comorbidity」野村忍（早稲田大学人間科学学術院）・坂本薫（東京女子医科大学）／「身体疾患における不安障害治療の意義」三村将（昭和大学）・田妻進（広島大学病院）／「嘔吐

恐怖症の病態と治療」貝谷久宣（和楽会パニック障害研究センター）・野呂浩史（南平岸内科クリニック）【教育講演】「原始感覚と心をつなぐ扁桃体神経回路」加藤総夫（東京慈恵会医科大学）／「人類と不安人類は不安をどう見てきたか」酒井明夫（岩手医科大学）／「DSM-V で不安障害はどう変わるか？」松永寿人（兵庫医科大学）／「児童思春期の不安障害に対する認知行動療法」石川信一（宮崎大学）／「統合失調症にみる不安の諸相」内海健（東京芸術大学保健管理センター）【ワークショップ】①「認知行動療法による関わり（技法）を学ぼう：導入から技法の選択まで」坂野雄二（北海道医療大学）／②「不安障害の評価と診断」大坪天平（東京厚生年金病院）／「エクスポージャーと認知の修正のコツ：SAD への関わりを中心に」鈴木伸一（早稲田大学人間科学学術院）【参加費】事前登録：医師・企業：12 月 31 日まで 8000 円、1 月 1 日以降 10000 円、コメディカル：12 月 31 日まで 5000 円、1 月 1 日以降 8000 円、学生：12 月 31 日まで 4000 円、1 月 1 日以降 5000 円【申し込み】ホームページの登録ページ。ワークショップも要登録【問い合わせ】〒107-0061 東京都港区北青山 2-7-9 日昭ビル 6F ザ・コンベンション内 運営事務局【TEL】03-3423-4180【FAX】03-3423-4108【E-mail】jsad3@the-convention.co.jp【URL】http://www.jsad3.org/index.html

山梨県立大学看護実践開発研究センター
緩和ケア認定看護師教育課程開設

【開講期間】平成 23 年 6 月～12 月【出願期間】2 月 7 日（月）～28 日（月）【選考試験】3 月 19 日（土）【募集人数】30 名【募集要項】ホームページ参照【問い合わせ】山梨県立大学看護実践開発研究センター 〒400-0062 山梨県甲府市池田 1-6-1【TEL】055-253-7780【FAX】055-253-7781【URL】http://www.yamanashi-ken.ac.jp/modules/tinyd29/

精神科認定看護師の会第 3 回研修会

【日時】2 月 13 日（日）【場所】日本精神科看護技術協会東京研修会場（東京都港区）【内容】「精神科認定看護師に期待すること・今後の展望」天賀谷隆（日本精神科看護技術協会副会長）／「精神科認定看護師による活動報告」【対象】日精看会員・非会員（一般参加者も歓迎）【定員】80 名（定員になり次第、受付を終了）【参加費】精神科認定看護師の会会員は無料、日精看会員 1000 円、日精看非会員 2000 円【申し込み・問い合わせ】精神科認定看護師の会事務局 大谷須美子【E-mail】t10a05@yahoo.co.jp

日本精神保健福祉政策学会
創立 20 周年記念学術大会

【テーマ】精神保健福祉体制の将来ビジョンを探る【日時】2 月 13 日（日）【会場】東京医科歯科大学 5 号館 4F 特別講堂【会長講演】日本精神保健福祉学会の歩みと今後の方位」松下昌雄（帝京大

学)【特別記念講演】「わが国の精神保健福祉体制のビジョンを語る」(仮)岡田靖雄(精神医療史研究会)【シンポジウム】「わが国の精神保健福祉制度のビジョン(理想型)を語る」弘末明良(元茨城県立友部病院)・水野恵理子(山梨大学)・加藤久雄(弁護士)・田尾有樹子(社会福祉法人巢立ち会)・竹島正(国立精神・神経センター精神保健研究所)【参加費】3000円、当事者・家族500円、学生1000円(資料代含む)【問い合わせ】明治大学駿河台校舎研究棟1201号(星野研究室)【TEL & FAX】03-3296-2307(専従がないので連絡はFAXで)

第21回 日本アルコール看護研究会 宮城大会

【テーマ】いま、なににしている?【日時】2月18日(金)～19日(土)【会場】元湯 鷹泉閣 岩松旅館(仙台市青葉区)【基調講演】「我が国のアルコールと自殺そして海外の取り組みについて」高橋聡美(仙台青葉学院短期大学)【特別講演】「人・仲間・出逢い・回復・成長」飯室勉(仙台ダルク代表)【参加費】当日3000円【問い合わせ】〒981-0933 仙台市青葉区柏木1丁目8-7 東北会病院内 事務局【TEL】022-234-0461【FAX】022-274-2643【URL】<http://alcohol-ns.web.infoseek.co.jp/osirase.html>

心理教育・家族教室ネットワーク 第14回研究集会

【テーマ】つなげる・つづける心理教育【日時】2月24日(木)～25日(金)【会場】京王プラ

ザホテル(東京都新宿区)【大会長講演】「抗精神病薬はこころをどのように回復させるのか」石郷岡純(東京女子医科大学)【教育講演】「わが国のうつ・自殺対策」樋口輝彦(国立精神・神経医療研究センター)【シンポジウム】①「心理教育の基本と広がり」池淵恵美(帝京大学)・大島巖(日本社会事業大学)・下寺信次(高知大学)・前田正治(久留米大学)・後藤正治(新潟大学)・遊佐安一郎(心理技術研究所/長谷川メンタルヘルス研究所)／②「心理教育のブレイクスルー 心理教育を実践するうえで生じた壁を乗り越えよう」伊藤順一郎(国立精神・神経医療研究センター)・稲田健(東京女子医科大学)・賛川信幸(日本社会事業大学)・恒松由記子(こども教育宝仙大学)・近接領域での活動からの発言【クロージングセッション】後藤雅博【ワークショップ】事前申し込みが必要。①「統合失調症家族への心理教育」馬場安希(国際医療センター国府台病院)／②「感情調節障害」遊佐安一郎／③「心理教育を広めるツールキット」大島巖(日本社会事業大学)／④「子どもとそれを支える人たちへの心理教育」木下隆司(東京女子医大)／⑤「Family to Family」福井理江(東京学芸大学)／⑥「地域で行う心理教育」土屋徹(Office 夢風舎)／⑦「うつからの復職支援と心理教育」内田江里(長谷川メンタルヘルス研究所)／⑧「医療で行う心理教育」内野俊郎(久留米大学)／⑨「本人支援」坂本明子(久留米大学)／⑩「家族の中のSST」前田ケイ(ルーテル学院大学)・小野賢一(東京女子医科大学)【参加費】会員:事前6000円、当日7000円、非

会員:事前7000円、当日8000円、当事者:いずれも1000円、家族・学生:いずれも2000円、懇親会5000円【申し込み】ホームページ内「登録」フォームまたはFAXで【問い合わせ】ケイ・コンペンション内【TEL】03-5367-2382【FAX】03-5367-2187【E-mail】14kazoku@k-con.co.jp【URL】<http://www.k-con.co.jp/14jnpf.html>

神戸市看護大学 第12回国際フォーラム

【テーマ】看護診断とEBC(エビデンスに基づいたケア)の効力より良い看護を探究するために【日時】2月26日(土)【会場】神戸市看護大学ホール【講師】Betty J. Ackley MSN, EdS, RN(看護コンサルタント、通訳有り)【参加費】一般3000円、学生1000円【申し込み】往復はがきに住所、氏名、電話番号、一般・学生の別を明記し下記へ送付【締め切り】1月31日(月)必着【定員】500名【問い合わせ】〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学内 事務局【TEL】078-794-8080(代)

第30回日本社会精神医学会

【テーマ】成長と成熟、共生する社会【日時】3月4日(金)～5日(土)【会場】奈良県文化会館【特別講演】「現代社会とこころの病」多川俊映(興福寺貫首)【理事長講演】井上新平(高知大学)【市民公開講座】「認知症を介護する家族のメンタルヘルス 自殺の予防」朝田隆(筑波大学附属病院)【シンポジウム】①「精神科病院にお

ける禁煙対策」岸本年史（奈良県立医科大学）／②「児童精神科医療における教育と福祉との連携」飯田順三（奈良県立医科大学）／③「医療機関における気分障害のリワーク」五十嵐良雄（メディカルケア虎ノ門病院）／④「キャンパスメンタルヘルスの現代的課題と将来的展望 21 世紀におけるメンタルヘルス」影山任佐（東工大保健管理センター）／⑤「総合病院精神科とコミュニティ精神医療」野口正行（岡山県精神保健福祉センター）／⑥「薬物依存と現代社会 医療モデルの必要性」和田清（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）・松本俊彦（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）／⑦「医療観察法」紙野晃人（松籟荘病院やまと精神医療センター）／⑧「多文化社会とマイノリティ 難民・移住者の適応とメンタルヘルス」張賢徳（帝京大学医学部附属溝口病院）・阿部裕（四谷ゆいクリニック）【教育講演】①「遺伝と環境」安藤寿康（慶應義塾大学）／②「ICD-11, DSM-V」飯森真喜雄（東京医科大学）／③「働くことをどう支援するか 障害をもつ人ともに働ける社会へ」池淵恵美（帝京大学）／④「発達障害」根来秀樹（奈良教育大学）／⑤「精神疾患と早期介入」水野雅文（東邦大学）／⑥「チーム医療 現状と課題」西尾雅明（東北福祉大学）【参加】当日登録。会員 10000 円、非会員（医師）10000 円、非会員（非医師・学生）5000 円。懇親会費 5000 円。プログラム・抄録集 1000 円【問い合わせ】〒530-0057 大阪市北区曽根崎 2-12-7 梅田第一ビル 8F 日本旅行西日本営業本部営業推進本部

ブランドゥ・ジャパネスク 担当：下村・木村【TEL】06-6312-0461【FAX】06-6312-0462【E-mail】jssp30_2011@nta.co.jp【URL】https://apollon.nta.co.jp/jssp30/index.html

メンタルヘルスの集い 第 25 回日本精神保健会議

【テーマ】支えられて（手）支えて（手）！ 家族が求める家族支援【日時】3 月 5 日（土）～6 日（日）【会場】有楽町マリオン 11F 朝日ホール【問い合わせ】日本精神衛生会事務局【TEL】03-3269-6932【FAX】03-3269-6932【URL】http://www.jamh.gr.jp/

日本集団精神療学会第 28 回大会

【テーマ】私の・外のグループ、内のグループ【日時】3 月 12 日（土）～13 日（日）【会場】立命館大学衣笠キャンパス（京都）【参加費】会員：事前 8000 円、当日 9000 円、非会員：事前 9000 円、当日 10000 円、学生（院生は除く）事前 5000 円、当日 8000 円。懇親会：事前 6000 円、当日 8000 円【問い合わせ】〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学大学院応用人間科学研究科 藤信子 気付【FAX】075-465-8120【E-mail】jagp28@gst.ritsumei.ac.jp【URL】http://www.jagp1983.com/jagp28kyoto/

文化看護学会第 3 回学術集会

【テーマ】未来を創る当事者の力【日時】3 月 12 日（土）【会場】

千葉大学看護学部（千葉市中央区）【対談】「未来を創る当事者の力」桐山三智子（片品生活塾、iikarakan）・木下勇（千葉大学）【ラウンドテーブル】I「住民との協働実践をめざす看護実習の試み」／II「ともに生きる看護の実践」【教育ワークショップ】「看護に生かす漢方の知識」【参加費】会員：事前申し込み（1 月 24 日（月）まで）2000 円（学生会員は 1500 円）、当日申し込み 3500 円（学生会員は 2000 円）、非会員：事前、当日ともに 3500 円（学生は 2000 円）。弁当代 1000 円。懇親会 2000 円【申し込み】郵便振替用紙に氏名・所属・住所・電話番号・参加費の内訳を明記し、口座番号 00100-6-727608「文化看護学会第 3 回学術集会」に入金【E-mail】bunkakango@gmail.com【URL】http://square.umin.ac.jp/scns/

第 18 回多文化間精神医学会学術総会

【テーマ】世界の中の日本、日本の中の世界【日時】3 月 18 日（金）～19 日（土）【会場】箱根湯本富士屋ホテルレインボー館【シンポジウム】【オープニングレクチャー】浅井逸郎（多文化間精神医学会理事、ハートクリニック）【プレナリーレクチャー】①“うつ”の進化心理学：なぜいま若者は“うつ”になるのか 神庭重信（九州大学）／②「ACCULTURATION AND WELL-BEING: THE ADAPTATION OF IMMIGRANTS IN NEW SETTINGS」John Berry, Ph.D (Professor Emeritus, Department of Psychology, Queen's University)／③「The Protest Psychosis: How

Schizophrenia Became a Black Disease」Jonathan M. Metzl, M.D.(Dept.of Psychiatry, University of Michigan)【シンポジウム】①「現代日本の若者の精神病理の特徴」倉本英彦・塩路理恵子・李創鎬・Ellen Rubinstein／②「留学生のメンタルヘルス 1」加賀美常美代・守谷智美・大西晶子・園田智子／③「留学生のメンタルヘルス 2」倉地暁美・朝田隆・宋暁非・門倉正美)／④「リジリアンス・文化・ナラティブ」加藤敏・大塚公一郎・野口正行・下地明友／⑤「日本の心理療法の海外での展開」手塚千鶴子・北西憲二・真栄城輝明・王祖承／⑥「文化精神医学の考古学：日本の未来のために」江口重幸・三脇康生・大月康義・松澤和正／⑦「多文化協働の可能性 次世代のまなざしから」田中英三郎・野内類・磯野真帆・高橋智美／⑧「渡航医学会関連シンポジウム」勝田吉彰・濱田篤郎・飯田奈美子／⑨「産業と多文化」村上裕子・モニカ・ブレッサリア・山本晴義／⑩「地方における外国人診療」野口正行・春田有二／⑪「日系ラテンアメリカ移民への支援」阿部裕・田中ネリ／⑫「文化の変遷とうつ病の研究」新福尚隆／⑬「福祉と文化」岡田和史【参加費】医師 10000 円、非医師 5000 円（1 日参加 2500 円）、学生 2000 円（1 日参加 1000 円）【申し込み・問い合わせ】ホームページのフォームから【事務局】〒251-0025 神奈川県藤沢市鵠沼石上 1-2-10 wel-BIZ 藤沢 602 こまち臨床心理オフィス 内【TEL & FAX】0466-47-8164【URL】<http://www.jstpn.net/18confer/index.html>

第 6 回日本統合失調症学会

【テーマ】統合失調症の総合的理解と支援 脳病態から地域生活・家族支援まで【日時】3 月 25 日（金）～26 日（土）【会場】コラッセふくしま【市民公開講座】①「JPOP-VOICE 統合失調症と向き合う」／②「我が家のトースツライフ 家族の立場から（DVD 出演）中村ユキ（漫画家）／③「家族として病気とどう向き合うか」吉原秀一（福島県精神保健福祉会）／④「4419 人への調査報告に見る家族支援・ニーズ」白石弘巳（東京都精神医学総合研究所・東洋大学）／⑤「当事者が地域で暮らすために必要なもの 早期介入・家族支援とは」大谷廉（福島県精神保健福祉会連合会つばさ会）【問い合わせ】〒102-0075 東京都千代田区三番町 2 三番町 KS ビル コンベンションリンケージ内【TEL】03-3263-8688【FAX】03-3263-8693【E-mail】jssr6@c-linkage.co.jp【URL】<http://www.c-linkage.co.jp/jssr6/index.html>

第 12 回日本サイコセラピー学会

【テーマ】サイコセラピーと社会【日時】3 月 26 日（土）～27 日（日）【会場】帝京大学病院本部棟臨床大講堂・会議室【会長講演】「ウィーン医学散歩：ヤウレックとフロイト」南光進一郎（帝京大学）【特別講演】①「Development of psychotherapy and psychology from a global perspective」Alfred Pritz（欧州サイコセラピー学会会長）／②「サイコセラピストになる、ということ」藤山直樹（上智大学）【教育

講演】「チベットの心とサイコセラピー」中谷三保子（帝京平成大学）【シンポジウム】「社会の中のサイコセラピー」狩野力八郎（東京国際大学）・中野明徳（福島大学）・早川東作（東京農工大学保健管理センター）・奥村雄介（府中刑務所）・飛鳥井望（東京都精神医学総合研究所）・赤穂理絵（がん・感染症センター都立駒込病院）・元永拓郎（帝京大学）【参加費】会員 5000 円、一般 7000 円、学生無料（学生証提示）【ワークショップ】「精神療法の現状と今後の方向性」牛島定信（日本サイコセラピー学会理事長）・大野裕（慶応義塾大学保健管理センター）・[特別招待パネリスト] Alfred Pritz【参加費】会員無料、非会員 2000 円【問い合わせ】〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医学部精神神経科学教室（事務局 秦孝憲）【TEL】03-3964-1462【E-mail】12cjfp@med.teikyo-u.ac.jp【URL】<http://www.nihon-psychotherapy.jp/jfp12th/japanpsycho-12th-index.html>

お薬クロスワードパズル 57 ページのこたえ

コ	ゾ	ウ	オ		ラ	ン	ブ
イ	ロ	リ	ン		ー		ー
ビ	フ	デ	ブ	ロ	メ	ー	ル
ト	ト	レ	ド	ミ	ン	ク	バ
サ	ン	ダ	ル	オ	ソ	マ	キ
ル	ボ	ッ	ク	ス	ー	ス	シ
サ		ク	マ		レ	ー	ル